

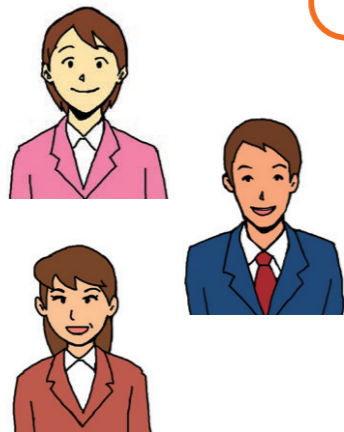
単元例1 喫茶店を開こう（中学部）

ステップ1 単元の構想(アイデア)

中学部2年生の生徒たちは、これまでの学習や学校行事を通して、仲間意識が育ってきている。

中学2年の生徒にとって、将来の就労や進路についてどんな学習をしておくよいのだろう。

「みんなで何かをやり遂げよう」という雰囲気があるのが特徴だ。このチームワークを生かして、みんなで最後までやりきって、達成感を共有できるような単元をつくりたい。



誰かの役に立つこと、喜んでもらうことにやりがいを感じて欲しい。

高等部への進学に向けて、「働く」ことを意識するきっかけになり、就労への意欲が高まるような活動を考えたい。

集団の「良さ」を生かしながら、生徒一人一人が「できること」を発揮できる場面をつくりたい。

一人一人が自分の役割を果たすことで、自信をもって活動できるようになって欲しい。

3学期に計画している就業体験（喫茶接客）につながるような単元にしたい。

教室で喫茶店を開くことを目標に、働く活動を取り入れた単元にしよう。

単元名「喫茶店を開こう」

期待する生徒の姿

- ・お店のイメージをもち、自分の役割を意識しながら主体的に活動する姿。
- ・友達と協力して活動し、互いを認め合う姿。
- ・みんなでお店の成功を喜び、達成感を味わう姿。

キャリア教育の充実に向けて、高等部における職業教育とのつながりも考慮して構想した、27単位時間の実践事例です。

ステップ2 単元指導計画の作成

単元づくりに当たって

- ・「喫茶店」のイメージをもち、単元への意欲を高めるような導入を工夫する。
- ・喫茶店の開店に向けた準備や道具作りも学習に取り入れる。
- ・運営や係の仕事は、自信をもってできるようになるまで、何度も繰り返して行う。



- **喫茶店を開くことを最終目標に4つの小単元を設定し、喫茶店の開店に向けて次第に意欲を高めることができるような単元展開にする。**
- **教科との関連が深い学習や、新たな知識や技能を丁寧に指導する内容は、他の教科等と関連付けながら行い、生活単元学習の時間は、生徒が「できること」を中心にした活動を展開する。**

喫茶店を開こう(全27単位時間)		他の教科等との関連			
小単元名とねらい	主な学習活動	国語・数学	美術	音楽	日常生活の指導
「喫茶店を始めよう」 (6単位時間) 喫茶店のイメージを共有し、自分たちで運営したいという意欲をもつ。	・喫茶店の見学 ・喫茶店づくりの話合い、メニュー決め			・「喫茶店の開店」をテーマにした歌の作詞・作曲、歌唱	・挨拶、身だしなみ 道具の準備、器具等の安全な扱い
「喫茶店の道具を作ろう」 (6単位時間) 喫茶店に必要な小道具や看板、注文表等を作ること、喫茶店の開店への期待感を高める。	・飲み物、軽食の試作 ・メニュー表、チラシ作り ・看板、装飾作り	・メニュー表、チラシ作り	・看板作り ・ペーパーホルダーの絵付け等		
「喫茶店を開く準備をしよう」 (7単位時間) 運営の流れを経験し、自分の役割や仕事の手順を理解し、活動への見通しをもつ。	・調理の練習 ・注文係・会計係・調理係の練習	・注文の聞き取り、接客時の対応の言葉 ・お金の計算 ・計量			
「喫茶店を開こう」 (8単位時間) 実際に喫茶店を開き、友達と協力しながら、積極的に運営に関わろうとする。	・開店準備(店内設営、調理準備、呼び込み) ・営業				

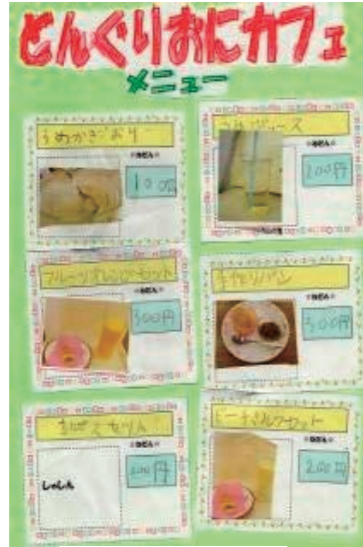
ステップ3 授業実践

～生徒が自分の役割を果たしながら、互いに協力して取り組むための支援の工夫～

喫茶店の準備



チラシ



メニュー

- * イラスト描きや文字を書く、構成などそれぞれでできること、得意なことを生かしてチラシやメニュー表を作りました。
- * メニュー表やチラシ作り、喫茶店での挨拶の言葉や注文の聞き取りなどは、国語の学習として行いました。

「開店するぞ！」の歌

♪おきやくさまが きたら？
えがおで「いらっしやいませ」

せきに ごあんない
えがおで「こちらにどうぞ」

ちゅうもんは なにかな？
えがおで「ごちゅうもんは
なににしますか？」
(一部抜粋)

- * 喫茶店見学の後、準備するものや挨拶の言葉を歌詞に盛り込んだ歌を作りました。毎回、学習のはじめに歌うことで、みんなが自然と挨拶の言葉を覚えていきました。

喫茶店の開店へ

どんぐりおにカフェ
おきやくさま ちゅうもんひょう

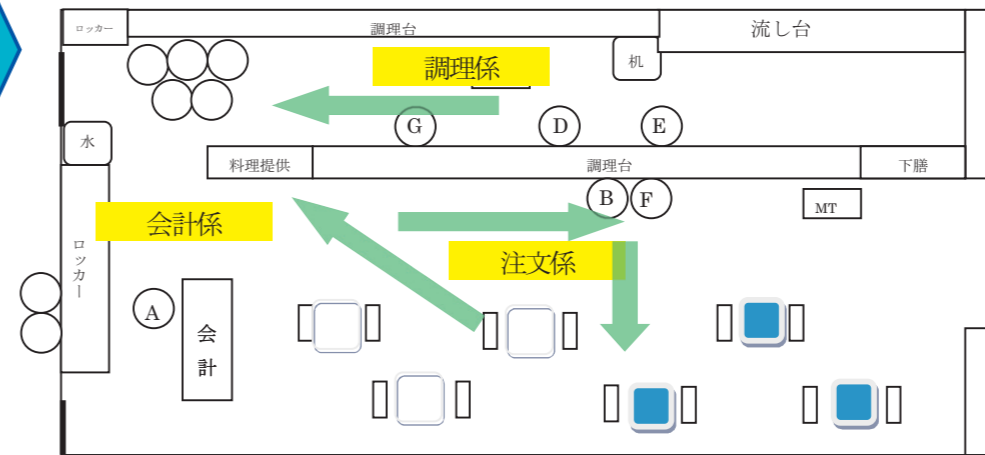


- * 生徒の「できること」に応じた手順表を用意しました。生徒が主体となって活動できるように、一人一人に応じた教材の工夫や環境づくりが大切です。

- * 注文係が対応するためのカードと注文票です。注文を聞き取り、○の中にチェックを入れます。



- * 調理の手順に合わせて材料のセットをつくり、分量も分かりやすく表示しました。



- * 生徒が活動しやすいような動線を考慮し、机などの配置を工夫しました。

A～F…生徒の位置
○…椅子
→…生徒の動線



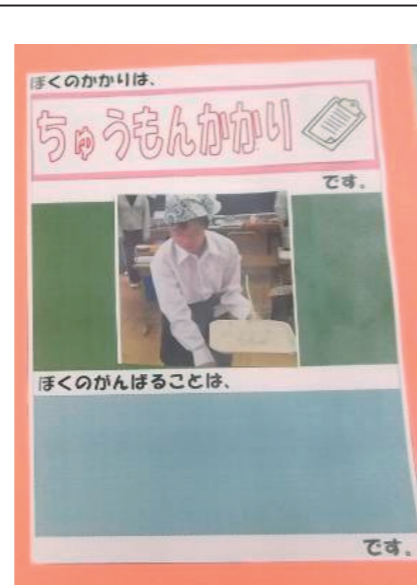
- * 店員とお客さんの役割を交互に行い、喫茶店の練習をしました。繰り返し練習することで係の仕事の流れや自分の動きを覚えていきました。

- * 練習を重ねるうちに、リーダー的な役割をする生徒も出てきました。



Fくん

テーブルクロスは二人組みでかけたほうがきれいでできるよ。
○さん、一緒にやるからちょっと待ってね。



- * それぞれが自分の目標を決めて取り組みました。



- * お店を開店し、たくさんのお客様に喜んでもらえました。

お客様への対応は、生徒にとって新鮮な経験でした。自分の役割を果たしながら、友達と声をかけ合い、協力する姿が見られ、教師にとっても充実した単元となりました。

